

# がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院  
サロン便り No. 60  
(2017年1月発行)



2016年12月9日に第67回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者11名（男性4名、女性7名）の方が参加されました。大きく変わった術後の生活や再発の不安、仕事先で術後の身体状況をどう理解してもらっているか等々、それぞれの思いを皆さんで共有し、分かち合いをしてとても和やかなひとときとなりました。



本日のサロンの三つのルール(①自分のことを自分の言葉で話す、②お話は評価することなく聴く、③ここでの話はここ限りの守秘義務)と自己紹介から始まりました。参加者がいつもより少なかったこともあり、それぞれの想いを十分に語り合うことのできたサロンになりました。お話の中から心に響いた言葉を紹介します。

○少ししか食べられないが、口が胃の代わりをするくらい30~40分かけて良く噛んで食べる。

○抗がん剤による副作用の精神的なダメージが大きく、術後生活が大きく変わってしまい、今も対応できないでいる。

○再発や転移が、いつどこに出てくるのか不安。

○がんをした人でなければわからない、辛い気持ちがあると思っている。

○うつ気味になりインターネットで話せる場を探した。このサロンを知り参加。他施設サロンも含め1か月に2~3回参加していた。

○半年くらいでは、手術した体は元に戻らない。

○先の見えない不安でいっぱいだったが、年単位で不安は治まってきた。

○先生によって言い方も治療方法も違う。自分が納得するまで質問することが大事。

○肺炎で入院した。リンパ球が非常に低く、免疫力が落ちていると思った。

○骨髄移植をした。拒絶反応がどのような形で出てくるのか不安。

○胃を手術した人の食事のメニューの中で、麺類は食べられる食品の最後に分類されている。

○術後の運動は、踏み台を上がったたり降りたりするだけでも血行が良くなる。

○3か月頑張った。暖かくなったら公園に行こう。

患者さんやご家族のお話を聞いて、そして自分も思っていることを話してみませんか。スタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

## 次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時~15時）  
2017年2月10日（金）  
2017年3月10日（金）
- 場所：都立駒込病院 本館3階  
患者サロン(中央エレベーター横)
- 対象：主にがん患者さん・ご家族  
どちらの医療機関に掛かっている  
も参加出来ます。  
\* 予約はいりません / 参加費は無料です